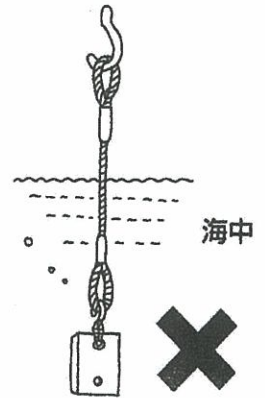


Wスリング

■ロープのねじれや曲がりが発生したら、修正しキックさせないようにして下さい。

■玉掛索は消耗品です。廃棄基準を超えたものは絶対使用しないで下さい。
強度が著しく低下しているので大変危険です。



■JIS B8817ワイヤロープスリングの点検、廃棄基準は下表のとおりです。

点検項目	点検の種類		点検方法	廃棄基準
	日常	定期		
1. 断線	○	○	目視	素線がロープ1よりの間において最外層ストランド中の総素線数の10%以上断線しているもの、又はロープ5より間において20%以上断線しているもの。
2. 摩耗	○	○	計測	摩耗によって直径の減少が公称径の7%を超えるもの。
3. 腐食	○	○	目視	腐食によって素線表面にピッチングが発生して、あばた状になったもの。 内部腐食によって素線が緩んだもの。
4. 形くずれ	○	○	目視	形くずれによってキック及び著しい偏平化、曲がり、かご状などの欠陥が生じたもの。
5. 電弧又は熱影響	○	○	目視	テンパーカラー又は溶損の認められるもの。
6. 塗油の状態	○	○	目視	
7. アイ部、圧縮止め部	○	○	目視	亀裂、変形、ロープのずれ、又は著しいきずなどが発生しているもの。

■玉掛索の使用に際しては、製品ラベル等によりロープ構成、ロープ径、破断荷重又は、種別を確認して下さい。
間違った玉掛索を使用すると、強度不足等により事故発生の恐れがあります。



■酸やアルカリの腐食雰囲気や100℃を超える高温雰囲気では使用しないで下さい。腐食、熱影響等により、強度が低下し、危険です。

■急激な衝撃荷重がかからないようにして下さい。

■玉掛索を鋭い角で曲げないよう、必要な場合は当て物をして下さい。

■玉掛索は消耗品です。必ず保守及び日常点検、定期点検を実施し、損傷の程度を常に把握して使用して下さい。

